

あなたにとって

椿とは？

大船渡には、椿に魅了され、愛してやまない人々がたくさん！
その想いを語っていただきました。



大船渡・気仙の宝



上部 泉さん

元・末崎地区農業委員

椿は私からすれば、大船渡の宝であり、気仙の宝です。その宝をこのまま埋もれさせてはダメだと思います。だから子どもたちや若い人の力を借りて、みんなで協力して椿を盛り上げていきたいです。

地域の宝



大和田 東江さん

元・末崎地区農業委員

三面椿は大船渡において他に肩を並べるものはない世界に誇れる存在です。三面椿は世界一の宝で、ヤブツバキそのものはこの地域の宝です。椿とはそういう存在だと思います。

出会い



金田 愛さん

オオナコ

私は椿の仕事を通じて、プライベートでも連絡を取り合うようなかけがえのない友人ができました。またこれがきっかけで皆さん（明治大学平山ゼミ）とも知り合えたので、私にとって椿とは出会いですね。

気仙の人の心意気



林田 黙さん

世界の椿館・碁石 館長

震災の津波の後、水をかぶったほとんどの椿は死んでしまったけれど海岸にあった野生のヤブツバキは一本も死んだもののがなかったんです。だから、ここ椿は気仙に住む人の心意気の象徴だなと思います。

気仙の特産・宝



石川 秀一さん

石川製油

自然のもので宝もある椿を、気仙の特産としてずっと守っていきたいです。私は椿を加工して油にしますが、そこから二次加工、さらに三次加工してくれる人が商売をして、椿で少しでも潤つていただければなと思います。

自分の人生を考えさせられる存在



山田 康生さん

株式会社 生成インターナショナル

僕は元々植物が好きなので椿だけという訳ではありませんが、僕にとって「樹木」とは、彼らよりもずっと短い自分の人生の修業を感じながら、木へのリスペクトと共に、自分がどれだけ頑張れるのか、どう生きていこうかと考えさせられる存在です。

可能性



可能性

高橋 和良さん
株式会社 バンサイ・ファクトリー

椿から何を思い浮かべます?と聞けば、やはり資生堂さんがあります。続いて、伊豆大島、少ないですが九州とでできます。大船渡が椿の里だと知られることに役立つ商品をつくり、県内外に置き、この地を知って欲しいです。



ワタシの憧れ

及川 由里子さん
ラグジュアリーネイル

椿の姿は、ワタシの憧れ。優しく凛としている姿の様に生きたいと思っています。「椿と女性の美をつなげたい」新しい夢をワタシにもたらしてくれた椿。女性の美的アイコンとして、憧れとして、椿とともに生きたいと思います。



ほっこり温かな気持ちに
させてくれるお花

木村ご夫妻

ちっちゃなクレープ屋さん

寒い冬に彩りを添えて、ほっこり温かな気持ちにさせてくれるお花。私たちは椿の花が咲く頃に、美味しい地元の食材を使って椿クレープを始めます。食べた方が椿の花のように楽しんで下さればいいなと思います。

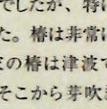


生きる力強さ

及川 宗夫さん

椿工房 おいかわ

椿はいつも家や近所にある存在でしたが、特に震災後に意識するようになりました。椿は非常に生命力が強い。また、我が家家の椿は津波で大きなダメージを負いましたがそこから芽吹き蘇った。生きる力強さを感じさせてくれます。



椿は身近な存在



志田 隆人さん
熊野神社(中森)

熊野神社周辺では、昔から庭に椿がある家が多くあります。そこから自分たちで油を搾って灯りにしたり、髪につけたり、様々な料理に使ったりしていたようです。だから私にとって椿は本当に身近な存在です。



関わった以上は
見過ごせないもの

小松ヒトミさん
糸錦ぎ工房 ハベトロット

以前は椿があつてもそれほど気にしていませんでしたが、椿染めを始めてからは、身近く咲く椿が目に留まるようになりました。関わった以上は見過ごせない、そんな椿の魅力を周りの人たちに教えています。

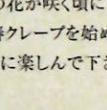


信号機

沼田 京子さん

大船渡市交通指導隊

職業柄、椿は信号だと思います。花びらが赤、花の中心部分が黄色、葉が緑という三色が信号と同じなので、子どもたちへの指導に利用してきました。この信号を心に留めて思いやりを持った人になって欲しいです。



大船渡の
まちおこしの象徴

山下 哲夫さん

日本ツバキ協会・大船渡支部

花も実も無駄がないので、まちおこしに椿は良いんです。観光やまちおこしでもっと有効に活用したいと思っています。例えば花びらで作る押し花や、幹や枝の灰で作る焼き物用の釉薬ですね。されど椿だなあ。

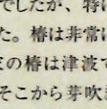


あなたの人生を
考えさせられる存在

山田 康生さん

株式会社 生成インターナショナル

僕は元々植物が好きなので椿だけという訳ではありませんが、僕にとって「樹木」とは、彼らよりもずっと短い自分の人生の修業を感じながら、木へのリスペクトと共に、自分がどれだけ頑張れるのか、どう生きていこうかと考えさせられる存在です。



ありたい自分の姿

佐藤 優子さん

株式会社 カメリア社中

三陸大船渡の地域の商社を目指したいということでお「カメリア社中」という椿を掲げた社名にして以来、椿を身近に感じるようになりました。緑の葉っぱの中に真っ赤に凛と力強く咲き誇る椿、そんな姿を目指し、頑張っていきたいと思っています。

あなたにとって椿とは?

あなたにとって椿とは?